

科目名	コンサート概論1							年度	2024
英語科目名	Introduction to Concerts 1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	床鍋隆	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】									
コンサート・音楽イベントについて必要不可欠な知識を学びます。ライブに不可欠なPAエンジニアとして必要な知識として、ま ず実習で取り扱う機材についての説明と、音の性質と特徴を捉えオペレートに必要な知識を学びます。									
【科目の概要】									
基礎実習と連携をとりながら、実践の予習復習とコンサート音響に必要な基礎知識から、最新の状況まで取り上げていきます。 前半は基礎実習ローテーションの中で取り上げた機材の解説と目に見えない音の不思議を。コース選択後はより音について深 掘りしていきます。									
【到達目標】									
A 簡単なPAシステムの配線が理解できる B 音の三要素が理解できる C 音の仕組みに興味を持ち音の性質が理解できる									
【授業の注意点】									
授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとして エンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできな いエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定 する癖を付けていく。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し		レベル1 要努力			
到達目標 A	簡単なPAシステムの配 線が理解できセッティ ングができる		簡単なPAシステムの配 線が理解できる			簡単なPAシステムの配 線の理解が乏しい			
到達目標 B	音の三要素の理解がで き、音の特徴を表現で きる		音の三要素が理解でき る			音の三要素の利害が乏 しい			
到達目標 C	音の仕組みに興味を持 ち音の性質が理解でき る		音の性質が理解できる			音の性質の理解が乏し い			
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
参考書・参考資料等は、授業中に指示します。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
＊試験と課題を総合的に評価する。＊授業内容の理解度を確認するために実施する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサート概論1			年度	2024
英語表記		Introduction to Concerts 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽との関わり方	音響の仕事	1 アンケート	音楽・音響に関するアンケートを実施自分とのかかわり方を理解する	2	
			2 音響の仕事	音響に関連する仕事を理解する		
			3 音の不思議	音の性質による現象を理解する		
2	基礎音響学	音の三要素	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 音の三要素	音の三要素を理解する		
			3 音の三要素	音源を基に聞いて理解する		
3	基礎音響学	ミキシングコンソール	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 ミキシングコンソール	入力と出力を理解する		
			3 ミキシングコンソール	ミキシングコンソールの中の信号の流れを理解する		
4	基礎音響学	周辺機器	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 周辺機器	入力：マイクロホン、CDプレーヤーを理解する		
			3 周辺機器	出力：パワーアンプ、スピーカーを理解する		
5	基礎音響学	ミキシング	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 フェーダー操作	基本的なフェーダー操作を理解する		
			3 台本	台本の読み方を理解する		
6	基礎音響学	コネクタとケーブル	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 コネクタ	音響で使われるコネクタを理解する		
			3 ケーブル	各入出力で使われるケーブルを理解する		
7	基礎音響学	電気の話	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 AC/DC	交流と直流を理解する		
			3 バッテリー	乾電池・蓄電池を理解する		
8	基礎音響学	マイクロホン・エフェクター	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 マイクロホン	マイクロホンの種類と特性を理解する		
			3 エフェクター	リバーブ・イコライザーを理解する		
9	基礎音響学	基礎実習期間の総復習	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 コネクタ	コネクタの種類・ケーブル巻きを理解する		
			3 コンソールへの配線	入出力の配線を理解する		
10	基礎音響学	音の三要素	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 音の三要素	三要素＋エンベロープを理解する		
			3 音の性質	音速を理解する		
11	基礎音響学	音場	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 音場	音はどのように耳に伝わり感じるかを理解する		
			3 空間	壁の材質や音の反射吸収解析透過を理解する		
12	基礎音響学	音の性質	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 カクテルパーティー効果	カクテルパーティー効果を理解する		
			3 マスキング効果	マスキング効果を理解する		
13	基礎音響学	耳の構造	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 耳の構造	空気の振動が脳に伝わる仕組みを理解する		
			3 耳の特性	等感度曲線を理解する		
14	基礎音響学	前期実習の総復習	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 ミキシングコンソール	卓の中の信号の流れを理解する		
			3 システム	入出力の配線を理解する		
15	まとめ	前期講義について	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 前期の復習	基礎音響学・音の仕組みの復習		
			3 試験の傾向と対策	復習を踏まえ試験の傾向と対策		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等